



2023夏 第16回 八千代子どもサミット

～つなげよう みんなで ひろげよう 八千代から～

八千代子どもサミットは、未来を担う子どもたちが地域の問題や将来等について考え、小中義務教育学校が連携して、地域社会に主体的に参画することを目的として、平成21年に始まりました。16回目の開催となる今年度は、「みんなの幸せ×SDGs」というテーマで、地域とどのようにつながれるのかを考えて活動しています。

お問い合わせは
指導課
☎481-0301へ

子どもサミットの基本方針

子どもサミットが目指すものとして、次の7つの活動を大切にしています。

- 子どもが中心となる活動 子どもを信頼し、子どもの声を中心とした活動を推進します。
- 子どもの「行動力」を育てていく活動 地域のために進んで活動する実践意欲と態度を育て、「地域を愛する心」を育てます。
- 地域とつながり、交流・貢献していく活動 地域を学校や教員が理解し、その地域で将来を生きる子どもへの教育について考えます。
- 学校同士が繋がり、連携・協力していく活動 学校や学校種を超えて、子どもたち同士が連携・協力する活動を目指します。
- 児童生徒組織の活性化を目指す活動 児童会・生徒会活動を活性化させ、児童生徒の一体感をより充実させることで、現代の教育課題を解消していく手立てとします。
- 未来を担う人材を育てる活動 子どもサミットを経験した子どもたちが、将来の八千代市、千葉県、世界をリードしていけるような人材を育てます。
- 世界規模で発想・発信していく活動 「世界」を意識させることは、未来を生きる力を培う上で、大きな教育的効果をもたらすという理念のもと、活動を広く発信し、自信と誇りを持たせる活動を目指します。

子どもサミット開催までの取り組み

今年度は「SDGsの活動を通して地域とつながること」を目標に活動しています。

SDGsの活動は、今年で3年目となりますが、コロナ禍のため、各学校での取り組みは充実しながらも、地域の人たちと一緒に活動することが難しい状況でした。

そこで、本来、子どもサミットで大切にしたい「地域とのつながり」を広げていくことを目指しています。

市内の学校を5つの地区に分け、5月～7月に複数回の地域子ども会議を行ってきました。

た。地域子ども会議では、各学校のSDGsの取り組みを紹介し合いました。また、事前に各学校で実施したアンケートを基に、地域の良さや課題を見つめ直し、どのようにSDGsの活動を地域に広げていき、地域のために活動できることは何かを話し合いました。

大和田地区では、「環境」について考え、「フードバンク」や「節電・節水」、「リサイクル」といった活動を行っています。

睦・阿蘇・米本地区では、自らの地区の良さは「自然の豊かさ」とあり、米作りを地域の人と一緒に「環境」や「経済」について考える活動を行っています。

村上・勝田台地区は、「住み続けられる町づくり」をテーマに、八千代市の魅力発信について考えています。また、企業とタイアップして、途上国に衣料支援を行っています。

八千代台地区は、「国際・環境」について考え、ペットボトルキャップを回収して途上国にワクチンを送る取り組みや、八千代台駅周辺の外国文化について調査しました。

高津・新木戸地区は、「環境」について考え、ボランティア清掃や、挨拶運動を行っています。

子どもサミット当日の様子

この3年間はWebで開催していた子どもサミットですが、今回は4年振りに、市内の全小中義務教育学校30校の代表児童生徒62人が一同に集まることができました。

「地域ディスカッション」では、5つの地区ごとに、これまでの取り組みを「全体ディスカッション①」で、どのように紹介し広げ

ていくのかを話し合いました。事前に各学校で実施したアンケートを持ち寄り、そこから地域の実態を把握したことで、今後の活動方針が明確になったようです。

「全体ディスカッション①」では、地域の今とSDGsの活動について各地区の発表を行いました。他の地区の活動内容から、子どもたちはさらに刺激を受けているようでした。一生懸命にメモに取り、質問をしながら発表を聞いていました。

「全体ディスカッション②」では、「みんなの幸せ×SDGs」をテーマに地区を超えて話し合いを行いました。みんなが幸せに暮らせる社会のために、今自分たちには何ができるのかを話し合いました。

「みんな」という言葉には、年齢の違い、性別の違い、文化・価値観の違い、病気や障害を抱えた人など、様々な人が含まれることを確認した上で、「他者に寄り添う」とは、どのようなことなのかを議論しました。

子どもたちは、夢みる未来の姿として、「みんなが公平に生きられる社会のために、まずは相手を知ることで偏見をなくしたい」、「自分たちが当たり前と思っている幸せに気付くことが大切なのではないか」など様々な意見を交換しました。

最後に、子どもたちは、今回のサミットで経験したことや話し合った意見を、さらに学校や地域に還元していくことを約束しました。

今後も、地域と世界を関連付けながら物事を考え、多様な人々と協働できる力を育む教育を目指します。



広告

広告